

<別紙>

次年度の取り組みについて（討議素案）

2021年3月7日

事務局

1 「放課後教室」の夏休みの実施

- 1) 保育所の保護者会のみなさんとの話し合いの時に「夏休みも小学校の放課後教室をやってもらいたい」「春海小には児童クラブがあるので、以前に希望者を募って春海小の「児童クラブ」に行ったことがあるが、子供がなじめなく、結局は中止になった」という声がありました。同じような意見は他からも出ていますし、現在「放課後教室」で子供たちを見ている担当者からもできれば夏休みもやりたいとの要望があります。以前に市に要請したが実現しなかったとのことです。
- 2) 市の学校教育課に相談しましたが、「放課後教室」は春海小の「児童クラブ」とは制度が違うので、夏休みにやるには制度を変える必要があるということでした。
- 3) 「放課後教室」ではなく自主的な取り組みとして行った場合、
 - ①学校の施設を借りることは可能か
 - ②現在の担当者が個人的に加わることは可能か検討をお願いしています。
- 4) ②については、市として個人の行動を縛ることはできないと言っていたので、例えば、豊和コミュニティーセンターを使ってやることは可能と思います。

以上を踏まえて、自主的な取り組みとして行うことを検討したい。

- ① 必要な経費としては、30～40万円程度と思われるが、基金から全額助成する。
- ② 現在の担当者地域のおじいちゃんやおばあちゃん、子育てから手が離れたママさんたちの協力で運営する。
- ③ 現在の担当者の実働時間を半減し、上記の方に謝礼（現行の半額程度）を支払いサポートしてもらうことでコストを下げると同時に、地域で子供たちを支えることにつながる。
- ④ 地域内外の大学生等にも協力を呼びかける。例えば、大学生で教員を志望している人などに、教育実習的な意味合いも含めて協力をお願いできないか。
- ⑤ 運営の主体をどうするかが一番の課題と思います。本来であれば、他所の地域で行われているような「児童クラブ」のようにNPO法人等をつくって運営するのが良いと思いますが、それを直ぐに立ち上げるのは難しいので、それまでの間は協議会が主体

となり、実際の運営は現在の「放課後教室」の方や上記のボランティア等をお願いするというのでしょうか？

- ⑥ 豊和コミュニティーを使うとする場合、他の団体との調整が課題としてある。

2 地域づくり事業立ち上げ基金（仮称）の創設

先日の地域アンケートでは、「屋敷の周りや道路などの木立や竹の伐採」「買い物サービス」「高齢者や子供の足の確保」等、今はともかくとしても近い将来にはこうしたサービスが必要となるという状況が見えてきました。そうしたニーズもあります。他方、移住者の中にはこうしたサービスを提供することで定住につなげていきたいという声があります。もちろん、豊和に住んでいる人がこうした事業を立ち上げることもあり得ます。

将来に向けて地域で必要となるサービスや事業の立ち上げを支援し、移住者の増加や定着につなげていくことを目的に、以下のように基金を創設したいと思います。

- ① 今期の残金を見ながら、来期に200万～250万円で立ち上げる
- ② 每期、残金の2分の1を繰り入れる。
- ③ 支援対象とする事業は、以下の二つの要件を満たすものとする
 - 地域で必要とされている事業
 - 豊和地区の人、若しくは豊和に移住する人が行う事業
- ④ 事業の立ち上げに必要な資金を無利子で融資する
 - 金額は、基本は、一案件100万円（150万円？）を上限とし、必要な資金の2分の1以内とする。
 - 事業の内容や必要な資金によっては、協議して上限を超えて融資することも可能とする
 - 返済は、据置期間（原則1年、最長2年以内）を含めて5年以内の返済を基本とする。
 - 具体的には、据置期間を含め事業者の意向も踏まえて個別に決める
- ⑤ 返済が終了後、村づくり基金への協力をお願いする。

3 地域で必要とされている事業への支援

- ① サービスの内容によっては、利用に対する補助制度をつくる。
 - ・事業者と利用者（豊和の住人）双方にメリットがあるようにする
- ② 補助金額は、サービス内容によって個別に決め、上限を設ける

4 移住者への定着支援制度

①生活用品等のバザーの定期的な開催

○協議会主催で年1～2回

○LINEを活用しての不用品の交換システムを立ち上げる

②住居のリホーム費用の支援

○費用の半額以内で下記の内容で無利子融資

・12万円、24万円、36万円の3種類とし、毎月1万円の返済

③対象者は、移住後3年以内の者で、かつ引き続き3年以上住み続けること、および居住地区の活動に参加していることが条件

5 小学校入学児童への「お祝い金」の支給について

以前の会議で出された意見ですが、以下を踏まえつつ、忌憚のない意見をお願いします。

①毎年の入学児童は、10名前後なので、「お祝い金」の額を1万円、又は2万円とし

ても10～20万円程度なので予算額としては可能

②豊和の全ての方に直接に基金の恩恵が伝わる

③途中でやめるのは難しさもある。可能ではあるが…。

④ばらまきの要素が拭えない。とはいえ、子育て支援という側面もある。